

例会日誌

- ◆司会
- ◆点鐘
- ◆斉唱
- ◆慶祝

副委員長：田邊寛樹

会長：横沢宏和

国歌「君が代」「奉仕の理想」

《誕生祝》
小池育郷 竹原健二



《結婚周年祝》
小池育郷 宮下康嗣
山越雅明 金井賢一
山口長武 西田不折
塚田 修 中村勝哉



◆退会 木村明夫
「6年間大変お世話になりました。上田西ロータリークラブの益々のご発展を祈念致します。」

◆ゲスト 米山奨学生
カン メイイクさん

◆会長挨拶 会長：横沢宏和
皆さん、こんにちは。本日はゴールドウイークの真っただ中、一昨日太郎山清掃登山があったばかりにもかかわらず、本日も例会にご出席頂きまして有難うございます。



さて、今日から5月。上田の街も新緑がいよいよ色濃くなり、空気の中にも次第に初夏の気配を感じるようになってきました。とはいえ、朝晩はまだ「ちょっと寒いな」と感じるのが信州です。この頃になってもまだこたつやストーブを片付けられない、上着が手放せない、普通に6月頃まで置いているうちって、多いのではないのでしょうか。これって長野県民「あるある」ですよ。今日はそんな「長野県民あるある」の話題になります。例えば、この時期になると、「山菜採って来たから持ってく？」と声かけられて、有難いやら断れないやらで、冷蔵庫が緑一色になることってないですか。天ぷらにしても和え物にしても、季節を感じられて本当に贅沢なんです。正直去年のごごみがまだ冷凍庫にあるなんていうの、私のうちだけではないでしょう。これ冬だとリンゴがやたら届いて困っちゃうということもありません。

もう一つ、信州ならではの「あるある」といえば、「どこに行くにも車」。特に上田のようなエリアでは車は必需品で、「東京は電車が便利でいいね」と言いながら、「でもやっぱり運転している方が気が楽だな」と思ってしまふ、そんな感覚も多くの方に共通しているのではないのでしょうか。「車で2時間？近いじゃん」とか、「ちょっとそこまで」と言っ、実際は往復100キロ以上走行する距離感というのは、どうやら他の県

の人からしてみると長野県特有の感覚とも言えるようです。それから、長野県民はやはり「蕎麦」にはうるさいですよ。結構自宅でも蕎麦打ちをする人も多くて、実はうちにもあるのですが、蕎麦打ちの道具一式があったり、それでもって蕎麦屋の話になると「あの店がいい」とか、「ここはどう」とかで盛り上がったりします。やっぱり「蕎麦」は信州人の生活に根差した食文化でしょう。

こういった“あるある”話は、ちょっとした笑い話でありながら、私たちの価値観や地域性、そして人とのつながりを感じさせてくれたりします。ロータリーの活動でも地域への理解と愛着は欠かせないのではないかなと思います。また「地域を知ること」は、「奉仕活動の第一歩」だと思います。なので他にも信州“あるある”、あるいは上田“あるある”を、みなさんご存じでしたら、ぜひ教えて頂きたいなと思います。

◆幹事報告 幹事：山口長武

- ①RI日本事務局より
「青少年奉仕月間」リソース
- ②R米山奨学会委員会より
「3月の寄付金傾向」
- ③RI2520 地区ガバナーより大船渡山林火災支援金お礼



◆出席報告 副委員長：田邊寛樹

本日	出席	31名	83.78%
	欠席	6名	(ベース37名)

◆ニコニコBOX 副委員長：宮下功司

池田友紀	大井定雄	金井賢一	木村明夫
久保田修二	小池育郷	近藤博道	下形眞生
竹内哲也	竹原健二	田邊寛樹	塚田 修
寺島秀則	中村勝哉	西田不折	箱山繁徳
宮川 巧	宮本文明	山口長武	山越雅明
山崎信幸	横沢宏和		計22名

前回	957,000円
今回	67,000円
累計	1,024,000円

～ ニコニコメッセージ ～

- ・4年半振りの卓話をします。少しでもお役に立てればと思います。 金井賢一
- ・太郎山、5才の孫と登って来ました。楽しかったです。 小池育郷
- ・寺の庭のつつじが咲き始めました。 近藤博道
- ・久しぶりの出席となりました。 塚田 修
- ・58年目、介護度4の伴侶と歩む人生行路です。 西田不折
- ・太郎山清掃登山お疲れ様でした。調子に乗って少し走りながら自宅に帰ったので、バキバキに筋肉痛です… 宮川 巧
- ・太郎山清掃登山、ご苦労様でした。心配していた割には足は大丈夫ですが。 山崎信幸

◆Rの友紹介 会員増強・公共イメージ・

R情報委員長：山越雅明

◆お知らせ

- 寄付のお願い
米山奨学会委員長 宮川 巧
R財団委員長 土屋 準

◆点鐘 会長：横沢宏和

― 会場・出席・会報委員：村越深典 ―

